

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26220206	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	合成小分子化合物による細胞の操作と分析	研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在)	上杉 志成(京都大学・物質-細胞統合システム拠点・教授)

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、合成小分子化合物を用いてヒト細胞の基本的性質を操作・研究することで細胞治療の効率の向上を目指しており、①アノイキス阻害剤の創製と活用、②心筋分化促進化合物の創製と理解、③ヒト幹細胞可視化化合物の創製と活用及び④ヒト幹細胞を選択的に死滅させる化合物の創製と活用に関する4つの研究目的が設定されている。いずれの目的においても研究は当初の目標どおり進展しており、高活性化合物の創製に期待どおりの成果を上げている。特に②の標的タンパク質の同定や④のヒト多能性細胞を除去する化合物の発見は特筆される。これら化合物群の活用研究も順調に進展しており、今後2年の期間内で細胞治療の効率化に役立つ研究成果が期待される。</p>		